

絆

K I Z U N A

2021 FEBRUARY

JAグループ青森 月刊広報誌 [890号]

2



国が支える。安心が大きくなる。

農業者年金のご案内

農業者年金は、国民年金の第1号被保険者（保険料納付免除者を除く）で、年間60日以上農業に従事する60歳未満の方であれば、どなたでも加入できます（※）。

（※）農業者年金に加入される方は、国民年金の付加年金（付加保険料月額400円）への加入も必要となります。

◎ 農業者年金のメリット ◎

1

少子高齢化時代に強い積立方式の年金です

自ら納めた保険料とその運用益（付利）を年金の原資として積み立てていき、この年金原資の額に応じて将来受け取る年金額が決まる「積立方式（確定拠出型）」の年金です。

自分が必要とする年金額の目標に向けて、保険料を自由に決められ（月額2万円～6万7千円までの間で千円単位）、経営の状況や老後設計に応じていつでも見直せます。

2

終身年金で80歳までの保証付きです

農業者年金は生涯支給されます。仮に加入者・受給者が80歳前に亡くなった場合でも、死亡した翌月から80歳までに受け取れるはずであった農業者老齢年金の額の現在価値に相当する額が、死亡一時金として遺族に支給されます。

3

公的年金ならではの税制上の優遇措置があります

支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税の節税につながります（なお、民間の個人年金の場合は、控除額の上限は5万円です）。

また、保険料の運用益は非課税で、将来受け取る農業者年金は公的年金等控除の対象となり、65歳以上の方であれば公的年金等の合計額が120万円までは非課税です。

4

農業の担い手には、手厚い政策支援（保険料の国庫補助）があります

認定農業者で青色申告をしている方やその方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など、農業の担い手となる方には国から月額最高1万円の保険料補助があります。

農業者の
老後生活は
国民年金
+
農業者年金が
基本じゃな。



保険料の
国庫補助なんて
他の年金にはない
メリットね！

With コロナ時代で輝くために

青森県JA女性組織協議会では、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、今年度は例年通りの事業運営が厳しい状況にありました。

そのため、本協議会では県内における新型コロナウイルスの感染状況を随時確認しながら、感染対策を徹底して“できる範囲での活動”に力を入れていく1年となりました。

会議や研修会においては、手洗い・うがい・マスクの着用はもちろんのこと、参加人数の制限を設け、密を避け、県外在住の講師にはリモートでの講演を行っていただきました。

このことをきっかけとして、今後は「With コロナ時代」で活動していくために、活動を自粛し活動の幅を狭めるだけでなく、インターネットやSNSを積極的に取り入れた新しい形で活動に取り組んでいかなければならないのだと感じました。

また、今年度は活動自粛の中でも、県役員視察研修やフレミズ交流会、各研修会等をすべて県内で実施し、私たちの暮らす自然豊かな青森県にじっくりと向き合う1年ともなりました。県内視察研修では津軽地区（弘前市・大鰐町・西目屋村）を回り、地域特有の工芸品製作や農業・自然に触れ、青森県には私たちが知らなかった魅力がまだまだあること、地域によって様々な魅せ方があることに心から感心し、青森県の良さに改めて気づかされるきっかけとなりました。

フレミズ交流会では、フレミズ部員の増加を図るため、“お試し参加”を受け入れることによって非農家でJA女性部に所属していなくても、女性部活動のイメージを掴んでもらったり興味を持ってもらえるような会の持ち方を提案いたしました。

本協議会におきましては、現在も単位組織における女性部長の年齢条件が満たされないことから、欠員が出ている状況です。加えて、活動を自粛してばかりでは女性組織の存在意義が薄れてゆくだけです。そのため、今後は冒頭でも触れた通り「With コロナ時代」を意識し、感染症対策を徹底した活動を無理せず“できる範囲”で展開していきます。そして、単位組織での女性部活動をとどめることなく、各JA女性部同士が交流し、高め合えるような活動の場や研修会内容の提供を目指していきたいと思っています。

青森県JA女性組織協議会



4・20「通常総会」



7・20「フレミズ活動」



8・5～6「視察研修」

絆 2 目次 CONTENTS

メッセージ	1	組織農政通信	14
特集	2	令和2年度 職員資格認証試験結果の概要	15
フラッシュ	4	JA津軽みらいNEWS	18
インフォメーション	6	輝き	19
東北農政局通信あおもり	11	自慢の逸品	19
実践自己改革	12	仲間	20
経営の窓口	13		

新型コロナウイルスに 負けるな!

第6弾

～積極的な宣伝活動で
消費拡大を～

J A全農あおもり

「とどけ、おらほの食卓」キャンペーンを開催

J A全農あおもりは、令和2年12月17日から25日までの9日間、「とどけ、おらほの食卓」キャンペーンを展開。3085件の応募の中から、抽選で100名様に応募者のメッセージを同封した「青森の食材セット」を贈った。

コロナ禍で正月の帰省を避ける動きが予想されていたことから、離れていても青森県産の食材を贈る・受け取ることで、「食卓」といういつもの日常を少しでも感じてもらいたい、という想いで企画を考案した。

応募資格を限定し、応募者は青森県在住者、贈り先は青森県出身者かつ県外在住者とした。

食材セットは全て県産品。米「青天の霹靂」、りんご、ながいも、にんにく、ごぼう、郷土料理の材料（けの汁またはせんべい汁）を詰合せた。

セット食材を活用して作れる、とろろ飯やにんにくの醤油漬けなどのレシピシートや、応募者のメッセージを同封し、想いを込めた中身に、梱包箱にも、津軽弁または南部弁を使ったコメントを印字し、青森感満載の1箱となるよう工夫した。

キャンペーンを企画した担当者は「故郷を想う人、故郷から離れている人を想う人、それぞれの人たちの想いを、食を通じてつなぐ架け橋になれば」と話す。



テレビCM



青森の食材セット



同封のレシピシート



方言を印字した梱包箱（南部弁）

「合格祈願！あおもり野菜」キャンペーン開催中！

J A全農あおもりは2月28日まで、受験シーズンに向けた受験生応援企画「合格祈願！あおもり野菜」キャンペーンをWEB上で展開している。合格に向けた意気込みを入力し応募すると、「合格祈願お守り」や「やさい詰め合わせ」が抽選で600名様（期間中合計）に当たるもの。

「やさい詰め合わせ」には県産ながいも、にんにく、ごぼうを詰め、「ながいもを食べてネバーギブアップ」「にんにくパワーでパワーアップ」「ごぼうの繊維で戦意むきだし」とエールを込めた1箱となっている。

第1弾は令和2年12月24日から3年1月10日までで、合計5743件の応募があった。第2弾は1月11日から2月7日、第3弾は2月8日から28日まで。

キャンペーンを企画した担当者は「生産者の願いと地域が育んだ思いが込められた力ある野菜を食べて、合格を勝ち取ってほしい」と話す。

受験生応援企画は、県産やさいの新たな宣伝の取り組みとして始めたもので、今年で2年目。



キャンペーンの詳細は、全農あおもりホームページまで。



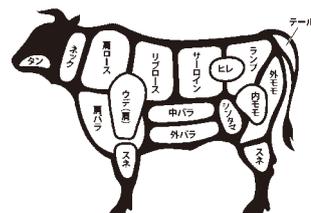
「クイズに答えて、あおもり和牛を当てよう！」キャンペーンを開催しました。

J A全農あおもりとあおもり牛販売促進協議会は1月15日、青森市の県農協会館で「クイズに答えて、あおもり和牛を当てよう！」キャンペーンのプレゼント抽選会を開いた。5502通の応募の中から、当選者40人を決定した。

「あおもり和牛」の知名度アップと消費拡大を目的に、令和2年11月29日から12月29日まで展開した。当選者には「あおもり和牛すきやき用

500g」をプレゼントした。

全農あおもり畜産酪農部の長内敏也部長は『「あおもり和牛」の銘柄がスタートして2年目。より多くの人に、美味しさや安全・安心を感じてもらいたい。県産牛をたくさん食べて、寒い冬を乗り切るパワーをつけて欲しい』と話す。



抽選会

フラッシュ

JA青森



第三者継承へ 浪岡地区新規就農受入協議会設立 (12/26)

JA青森は、青森市りんごセンターで浪岡地区新規就農受入協議会設立総会を行った。

生産者の高齢化や後継者不足の課題に対し、将来的に経営資源や栽培技術を新規就農者に移譲する「第三者継承」の実現が目的。同協議会の山内明男会長は「今後は、リンゴ経営者の育成が急務。我々が長年培ってきた栽培技術を新規就農者に伝承し、経営移譲を実現していきたい」と話した。



JAつがるにしきた

りんご剪定講習会 (1/19)

つがる市柏、森田地区の園地でりんご剪定講習会が行われ、生産者41人が参加した。對馬金吾氏が講師を務め「園地や枝によってバラつきが見られるので、花芽をよく観察し、日当たりの良い樹にすること」などと説明しながら、剪定の実技指導を行った。

JAつがる弘前



将来の担い手にお米授業 (1/21)

JAつがる弘前船沢支店は、弘前市立船沢小学校で、5年生児童19人を対象にはじめて「お米教室」を開いた。この取組みは、将来の担い手である子どもたちに農業へ関心を持ってもらおうと、三浦支店長が同小に提案して実現した。児童の一人は「私たちの食卓に届くまでに、頑張ってくれている人がいることを知った」「新型コロナウイルスの影響で米が余っていることを知ったので、おかわりしていっぱい食べたい」などと話した。

令和3年産水稻種子助成 五所川原市へ要望書提出 (1/12)
JAごしょつがるは、令和3年産水稻種子購入費用に対する助成についての要望書を五所川原市へ提出した。
齊藤勝徳組合長は「国内での消費が落ち込み中でも、県内チェーン店への販売や商社を通じて輸出等に力を入れているが、生産者が耕作意欲をなくさないよう費用助成を検討してほしい」と要望。これに対し、佐々木孝昌市長からは「第一次産業の農業従事者全体に関わることを、しっかりと検討し早めの対応をしたい」と話した。



JAごしょつがる

農業ふれあい教室で優秀賞受賞 (1/27)

弘前市立相馬小学校3年生の児童7名が、青森県JA女性組織協議会主催の「農業ふれあい教室作文・かべ新聞コンクール」で優秀賞を受賞し、同小学校でJA相馬村大黒谷よりこの女性部長から賞状と副賞が贈られた。受賞したのは、作文の部で成田羽生さんと、かべ新聞の部で6人1グループの「相馬りんごたい」のメンバー。「相馬りんごたい」のメンバーは「リンゴ畑で勉強した授粉作業から収穫作業までのことを工夫して伝えるようにしたのが大変だったが、賞を受賞することが出来て嬉しい」と喜びを語った。



JA相馬村

JA津軽みらい



剪定作業について学ぶ（1/14）

黒石基幹グリーンセンターは黒石市の園地でリンゴの剪定講習会を開き、生産者約100人が参加し、作業手順やポイントを学んだ。参加した生産者は「剪定は、リンゴの生育や作業効率に大きく影響を与える重要作業なので、参考にするために必ず参加している。学んだことを生かして今後の剪定作業を進めていきたい」と話した。剪定講習会は今後も各地で実施し、生産者は剪定作業の知識と技術を学ぶ。

JA十和田おいらせ



全職員で豪雪被害調査 対策本部を設置（1/20）

JA十和田おいらせは、十和田市の本店に「令和2年度暴風雪被害対策本部」を設置した。

十和田管内の12月の最深積雪54センチは、1983年の観測開始以来最深値を示し、1月7日のプラス27センチの降雪がさらに被害を拡大、19日現在、農業用ビニールハウスの被害は135棟。

同日、1回目の対策会議を開き、JAでは被害の詳細を国や行政に報告と支援要請を行うほか、独自の支援対策等を協議していくこととなった。

JAゆうき青森



管内初 ベトナム人を職員雇用（1/15）

JAゆうき青森は、1月より管内初となるベトナム人3人をJA職員として雇用。正職員雇用となるヴーディンさんはベトナムの大学で獣医学を専攻し、高度外国人材高度専門職1号の資格を有している。作業員雇用のグエンディンロンさんとハキェウオアインさんは特定技能資格を有し、日本で畜産関係の仕事の経験もある。

辞令を受け取ったヴーさんは「ベトナムと日本で仕事のやり方も違うので早く慣れるよう、たくさん勉強して生活と仕事の両立をがんばりたい」と話した。

JAおいらせ



子ども宅食おすそ分け便へ特産野菜を寄付（1/25）

JAおいらせは、子育て世帯を対象に希望者が利用する三沢子ども宅食おすそ分け便へ野菜を無料で提供する。おすそ分け便は30日に配達される予定。

これに先立ち実施主体となる三沢市民生委員児童委員協議会担当者らがJA本店を訪れ、沖澤繁弥組合長に野菜提供のお礼を伝えた。沖澤組合長は「市民と農協のつながりを持つためにも協力してまいりたい。JAはSDGsの達成に貢献するためにも、このような活動を応援していきたい」と述べた。

JA八戸



健康ヨガで体イキイキ（1/18）

JA八戸女性部川内地区は農閑期の間、「かっちゃんの女子会」と題し、冬期講習会を行っている。今回は、「まったくルーム小休」の中村佳代子さんを講師に、五戸町の瑞穂館で健康ヨガを行った。部員らは、呼吸を使いながら、膝や腰の奥深くのを伸ばしほぐし、体幹やバランスを整えた。

部員は「無理なく続けられるので、毎回楽しみにしている。体質改善にもつなげたい」と話した。

リニューアルしたホームページで情報発信

JA青森中央会は1月から、県内の農畜産物・イベント・農政情報などを積極的に発信するため、公式ホームページ（HP）を全面リニューアルした。これまでのレイアウトやデザインを一新して見やすくした。今後も中央会は、HPを活用し、更に情報発信を強化していくこととしている。



▲刷新したホームページをスマートフォンで確認する職員（1月18日、青森市で）

新人職員対象に研修 新採用職員フォロー研修

JA青森中央会は1月20日、青森市の青森トラック研修センターで採用後1年未満の職員を対象とした新採用職員フォロー研修を開いた。県内9JAから58人が参加した。仕事を進めるうえでのマナーと、社会人にとって必要なコミュニケーションを再確認してもらい、今後の業務に役立ててもらおうことが狙いだ。

（株）セミナー東北の鎌田晶子チーフ専任講師は、グループワークで入組してからの課題や悩みを参加者同士で共有させた。あいさつ・姿勢について指導した後、クイズ形式で会場の参加者と電話応対について確認した。

青森公立大学の香取真理教授は、コミュニケーションが上手な人の特徴は「話す」「聞く」「話を引き出す」の3つにあるとし、身ぶりや表情などの非言語情報を上手く使って、円滑な人間関係を



▲参加者と挨拶前の発声練習を行う鎌田チーフ専任講師

築くためのポイントを理論と実践を通して伝えた。

参加したJA職員は「コロナの影響でマナー研修などを行う機会が少なかった。これから接客する際に役立てたい」と話した。



▲参加者に質問をする香取教授

行事（2/10～3/10）

2月

- 10日 JA広報担当者研修会（県農協会館）
- 10日 日本農業新聞通信員会議・研修会（県農協会館）
- 16日 教育・人事労務研修会（教育研修所）
- 18日 JA自己改革推進会議（ホテル青森）
- 18日 JA総務管理担当常勤理事会議（ホテル青森）
- 18～19日 中堅職員研修会（教育研修所）
- 25日 県農協農政対策本部常任委員会（県農協会館）
- 25日 定例理事会（県農協会館）

3月

- 1日 県JA女性協部長・支部長・フレミズ・エルダー代表者、事務局合同会議（県農協会館）
- 1日 常勤監事研修会（県農協会館）
- 1日 青森県家の光大会（県農協会館）
- 2日 JAくらしの活動研修会（県農協会館）
- 3～4日 令和2年度初任者向け経営管理研修会（県農協会館）
- 4日 令和2年度経営管理研修会（県農協会館）
- 5日 県JA女性協理事会（県農協会館）
- 5日 非常勤理事研修会（県農協会館）
- 10日 県下組合長会議（県農協会館）
- 10日 県参協定例会（アートホテル青森）

涉外、窓口の優績担当者に記念品を贈呈

JAバンクでは、全国の涉外、窓口の優績担当者の相互啓発・情報交換の場として「JA 涉外担当者交流大会」ならびに「JA 窓口担当者交流大会」を毎年開催してきたが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催を見送り、各都道府県の優績担当者に記念品と優良事例DVDを贈呈した。

当県からは、2019年度県域表彰で優績JAを獲得したJAから、事業推進への貢献が顕著と認められた4名の職員が優績担当者に選出された。

選出された優績担当者は次のとおり。

- ・千葉 拓人 (JA十和田おいらせ 本店)
- ・田中 冴 (同)
- ・明石 美幸 (JAつがる弘前 碓ヶ関支店)
- ・高橋 明伸 (JAごしょつがる 本店)

はじめてみませんか? 「法人JAネットバンク」

JAバンク青森では、新型コロナウイルスの影響で、業務や働き方の見直しが求められる中、感染リスク回避と業務効率をアップさせるツールとして、法人JAネットバンクのご利用をお勧めしている。

法人JAネットバンクは、JAバンクの法人向けインターネットバンキングで、農業法人をはじめ、一般企業、個人事業主、学校法人、地方公共団体にいたるまで幅広いお客様のご利用が可能。

リアルタイムの資金移動(振込・振替)に加えて、複数のデータを1回の操作でまとめて送受信ができる総合振込や給与・賞与振込、口座振替など豊富なサービスを取り揃えている。

職場のパソコンを使って取引するので、窓口にご来店いただく時間や労力がかからず、業務効率アップが期待できる。

ご利用できる貯金口座は、普通貯金と当座貯金で、口座名義が同じならば、同一JA内で(本支

店を問わず)最大20口座まで登録が可能。

ご利用時間は、8:00~20:00(平日・土・日・祝日)まで(※1)。

法人JAネットバンクに関するお問い合わせやご相談は、お近くのJAまで。

法人JAネットバンクの主なサービス内容

基本サービス	残高照会 ・ご契約口座の残高をリアルタイムでご確認できます。 ・一度の操作で複数の貯金口座の残高をご照会できます。
	入金明細照会 ・ご契約口座の入出金明細をご確認できます。 ・照会結果を電子ファイルでダウンロードできます。
	振込入金明細照会 ・ご契約口座へのお振込の明細をご確認できます。
	振込・振替 ・全国のJA本支店、他行の国内本支店への振込や同一店内のお客様名義口座への振替ができます。 ・当日扱いのほか、翌営業日から翌7営業日を予約日とした振込・振替予約ができます。
伝送サービス※2	税金・各種料金の払込み ・「Pay-easy(ペイジー)」による税金・公共料金・各種料金の払込みができます。
	総合振込 ・買掛金、経費等のお支払いにご利用できます。 ・振込指定日の14営業日前から前営業日15:00までデータの作成・送信が可能です。
	給与・賞与振込 ・給与、賞与のお支払いにご利用できます。 ・振込指定日の14営業日前から3営業日前15:00までデータの作成・送信が可能です。
	口座振替 ・家賃や新聞購読料、売掛金などを指定期日に自動回収(県内のJA本支店にある口座からの回収に限り)し、ご利用口座に入金します。 ・振替指定日の14営業日前から2営業日前15:00までデータの作成・送信が可能です。
	口座振替結果照会 ・ご依頼いただいた口座振替の処理結果をご確認できます(電子ファイルで保存することもできます)。

※1 1月1日~1月3日、5月3日~5日はご利用いただけません。

※2 「伝送サービス」をご利用される場合は、「基本サービス」に加えて「伝送サービス」のお申込みが必要です。

行事(2/10~3/10)

農林中央金庫

2月

16日 JAバンク青森運営協議会専門委員会(県農協会館)

3月

7日 銀行業務検定試験(各会場)
9日 青森県JA信用担当部課長会議(県農協会館)

農協電算センター

2月

25日 定時取締役会(県農協会館)
25日 役員全員協議会(県農協会館)

これまででは...



作成に時間がかかる



JAへの
移動が面倒



窓口で待つ
時間がもったいない

ネットバンクなら...



振込データを作成
※振込ソフトや振込ファイル作成ツールで
作成すると便利です。



ネットバンクにて
一括で振込登録



振込内容を確認し
一括で振込

GAP 担当者会議

JA全農あおもりは12月18日、青森市の県農協会館で「GAP担当者会議」を開き、JA担当者ら19人が出席。

令和2年度のGH農場評価の取り組みについて、生産者・JA担当者の所感や今後の課題について意見交換した。GH農場評価はGAP（農業生産工程管理）をする取り組みの一環で、元年度から各JAにて評価を行っている。「農業経営をするうえで重要であると実感した」「評価のフィードバックにより自身の作業環境やリスクなどを知ることが出来るのは良い」などの声があった。一方で、「直接所得向上に繋がらないため意欲が湧かない」等という意見もあった。

会議ではグローバルGAPに実際に取り組み、環境改善や販路の拡大が図られた優良事例を紹介し、情報の共有を行った。

今後の課題として、生産者の理解とGAP普及推進に取り組み「いつでもGAPを取得可能な体制づくり」の構築を図ることとしている。



▲意見交換する出席者

ラジオで県産ながいもを紹介

JA全農あおもりは12月26日、ラジオ番組「JA全農 COUNTDOWN JAPAN」で全国トップクラスの出荷量を誇る県産ながいもの魅力を発信した。

番組では「アクが少なく、肉質がやわらかいので調理しやすく、食べやすい」などと特徴を紹介。美味しい保存方法として「まるごと1本なら新聞紙に包み冷蔵所で保存するのがおすすめ」と説明した。

視聴者プレゼントとして、50名様に県産ながいも5キロを贈った。産地直送通販JAタウン

「JA全農あおもりショップ」でも購入することができる。

同番組は、JFN38局ネットの音楽生放送番組。毎週土曜日13時から放送している。週替わりで著名なゲストを迎え、トークを交えてランキング形式で紹介。番組内でJAタウン商品をパーソナリティが試食してPRする。



▲ラジオで県産ながいもをPR

第15回農林水産物歳末市

JA全農あおもりは12月28日、青森市の県農協会館で「第15回農林水産物歳末市」を開いた。

歳末市は、県産農畜産物の消費拡大と地域貢献を目的に毎年年末に開いているもの。今年は新型コロナウイルス感染予防対策として予約注文のみでの開催とした。

県産のりんご、ながいも、にんにく、ごぼう、あおもり和牛等を予約注文形式で販売し、約300件の注文があった。

お買い上げの方には県産品が当たるお楽しみ抽



▲商品を受け取りに来場する客

選会を実施。また、購入者全員にあおい森の牛乳1リットルをプレゼントした。

ベトナムへの輸出を開始 今年産から「無袋ふじ」を追加

J A全農あおもりは、12月中旬からベトナムで令和2年産青森県産りんごの販売を開始した。前年産までの「世界一」「陸奥」「金星」「有袋ふじ」「ジョナゴールド」「王林」に加え、新たに「無袋ふじ」を追加し、現地で3月までの販売を予定している。

2年産のベトナムへの輸出量は、350トン进行画している（前年実績比119%）。

元年12月に検疫条件の一部改正が行われ、低温処理などの条件をクリアすることで無袋栽培りんごの輸出が可能となったことから、今年産より「無袋ふじ」の輸出を始めた。更なる輸出拡大が期待されている。

現地の取扱店舗（約150店舗）では試食宣伝会などキャンペーンを展開し、最大需要期のテト（旧正月）に向け、売り場を構築している。

全農あおもりは、台湾・香港に次ぐ市場に成り得るよう、さらなる輸出拡大に向けた取り組みを継続していくこととしている。



▲現地で行われた試食宣伝会

青森県ながいも共進会

J A全農あおもりは1月21日、十和田市の（一社）上十三広域農業振興会で「令和2年度青森県ながいも共進会」の審査を行った。最優秀賞は、4Lの部に寺澤和夫さん（J A十和田おいらせ）、2Lの部に寺澤祐介さん（同）がそれぞれ選ばれた。寺澤和夫さんには農林水産大臣賞、寺澤祐介

さんには県知事賞が授与される。

全国一の産地の維持・拡大に向けた「あおもりながいも産地力強化戦略」の一環として、生産者の栽培技術向上と高品質・多収生産の推進を目的に毎年行っているもの。



県内5JAから ▲審査する関係者ら42点（昨年31点）が出品された。審査基準の、規格や大小・形状の揃い、肉付き、毛穴や表面の凸凹の少なさなどから入賞者を選出した。

全農あおもりやさい花き課の高橋哲也課長は「受賞者の栽培方法を現場へ繋ぎ、県全体の品質向上となるよう努めていきたい」と話す。

最優秀賞以外の入賞者は次の通り。かっこ内はJA名。

【4Lの部】

優秀賞＝仁和 勝千代（十和田おいらせ）
工藤 和一（つがるにしきた）
優良賞＝下佐 賢悦（十和田おいらせ）
大久保 利美（十和田おいらせ）
石ヶ森 利勝（おいらせ）

【2Lの部】

優秀賞＝駒澤 慎（おいらせ）
優良賞＝古田 武信（おいらせ）

行事（2/10～3/10）

2月

- 10日 JASS-NET・POS講習会（県総合社会教育センター）
- 18日 りんご共防連役員・事務局合同会議（浅虫さくら観光ホテル）
- 18日 りんご共防連第5回役員会（浅虫さくら観光ホテル）
- 25日 運営委員会（県農協会館）
- 26日 J A - S S 中堅スタッフ講習会（県総合社会教育センター）

3月

- 10日 県下組合長会議（県農協会館）

JA共済連青森に 交通死亡事故抑止功 労団体感謝状が贈呈される

JA共済連青森に1月8日、青森県運転免許センターで青森県警察本部より感謝状が贈呈された。

これは、県内の昨年の交通事故による死者数が現在の統計方法となった1966年以降で過去最少の28人となったことを受け、交通安全活動を積極的に推進し死亡事故抑止に貢献したとして、JA共済連青森ほか全10団体に感謝状を贈ったものである。

村井紀之本部長は各団体の代表者に感謝状を手渡し、「年間の目標である37人から、1人でも減らすというのは厳しいと思いながら取組んできたので、28人は大変驚くべき数字と受け止めている」とし、「ひとえに皆さまの交通安全に関するご尽力の成果で、心からお礼申し上げる。」と感謝の言葉を述べた。

令和3年も交通事故の無い安全な青森県の実現を目指して、交通事故対策活動を青森県警察本部等と連携し、積極的に実施していきたい。

〈感謝状を受けた団体は以下のとおり〉

JA共済連青森、一般財団法人青森県交通安全協会、青森県安全運転管理事業主会、一般社団法人青森県安全運転管理者協会、青森県交通安全母の会連合会、青森県高速道路交通安全協議会、一般社団法人青森県指定自動車教習所協会、一般社団法人青森県自動車協会、公益社団法人青森県トラック協会、公益財団法人青森県老人クラブ連合会



▲授与された感謝状

自動車共済お見積りキャンペーン【第3期分】JA別当選本数決定

JA共済連青森は、県本部独自で実施している「自動車共済お見積りキャンペーン（第3期分：対象期間 令和2年10月1日～令和2年12月31日）」の、A賞からD賞までの当選本数をJA

別に決定した。（詳細については各JAに通知している。）

本キャンペーンは応募された方から抽選で豪華商品をプレゼントするもので、3Q訪問活動を通して、JA共済未加入車両への見積もり提案を展開することで、今までJA共済とつながりがない方に対する情報収集・提案を促進・新規契約の拡大につなげることを目的としている。

●当選者数

賞名	賞品	【第3期】 当選者数	年間 当選数
A賞	任天堂スイッチ	2名	8名
B賞	ドライブレコーダー	10名	40名
C賞	コードレスクリーナー	10名	40名
D賞	車載緊急用キット	20名	80名

キャンペーンは、令和3年3月31日まで実施していますので、第4期（令和3年1月1日～令和3年3月31日）の多数の応募をお待ちしております。

行事（2/10～3/10）

- 2月
 - 18～19日 仕組改訂・事務改善事項研修会（県農協会館）
 - 25日 運営委員会（県農協会館）
- 3月
 - 10日 県下組合長会議（県農協会館）

2020年農林業センサス結果の概要 令和2年2月1日現在 (概数値)

農林業センサスは、我が国の農林業の生産構造、就業構造及び農山村等の農林業をとりまく実態を明らかにするとともに、我が国の農林行政の推進に必要な基礎資料を整備することを目的として実施しています。

1 農業経営体数

個人経営体は19.4%減少
法人経営体は23.3%増加

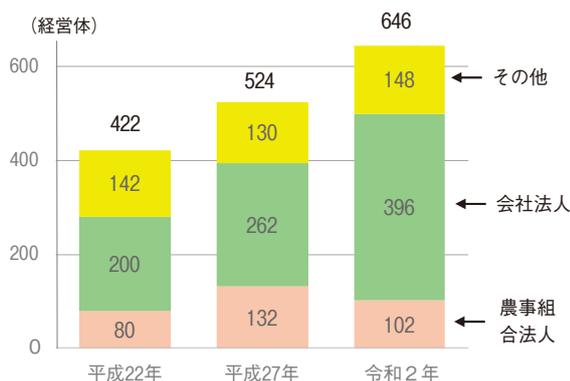
青森県の農業経営体数は、2万9,022経営体で、5年前に比べ6,892経営体(19.2%)減少しました。このうち、個人経営体は2万8,232経営体、団体経営体は790経営体となり、5年前に比べてそれぞれ6,805経営体(19.4%)、87経営体(9.9%)減少しました。

団体経営体のうち法人経営体は646経営体で、5年前に比べ122経営体(23.3%)増加しました。

表 農業経営体数(青森県)

区分	平成22年	平成27年	令和2年	増減率	
				H27年/H22年	R2年/H27年
農業経営体	44,667	35,914	29,022	△19.6	△19.2
個人経営体	43,580	35,037	28,232	△19.6	△19.4
団体経営体	1,087	877	790	△19.3	△9.9
法人経営体	422	524	646	24.2	23.3

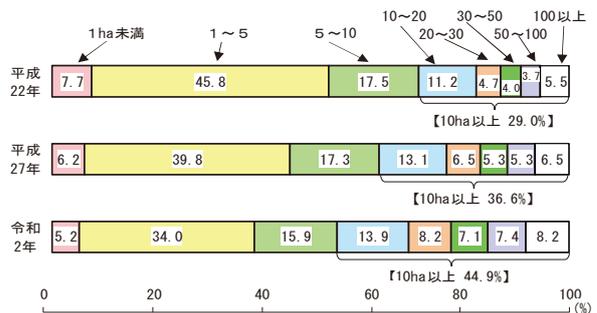
図1 法人化している農業経営体数(青森県)



2 経営耕地面積の集積割合

青森県の農業経営体の経営耕地面積規模別に経営耕地面積の集積割合をみると、10ha以上の農業経営体が44.9%を占め、5年前に比べ8.3ポイント上昇しました。

図2 経営耕地面積規模別経営耕地面積割合(青森県)



注: 割合については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

新しい調査項目

2020年調査から新しい項目が追加されました。

- 1 農業経営へのデータ活用の状況
- 2 青色申告の実施の有無
- 3 有機農業の取組状況



新しい調査項目を始め、詳細については東北農政局ホームページをご覧ください。
<https://www.maff.go.jp/tohoku/stinfo/kekka/>

※ 2020年農林業センサスの数値は概数値であり、確定した詳細な数値は令和3年3月ホームページに掲載予定です。

実践 自己改革

J Aグループ青森のJ A自己改革の取組みについて

1. 規制改革推進会議等の動き

12月22日の規制改革推進会議では、菅内閣発足以降の同会議の議論をふまえ、「当面の規制改革の実施事項」が決定された。

農協改革の関連項目である「農業者の成長段階に応じた資金調達の円滑化」は記載されたが、農協改革に関する記載は無かった。

【当面の規制改革の実施事項（抜粋）（令和2年12月22日、規制改革推進会議）】

- 5. 地方を含めた経済活性化・成長路線への回復に向けた規制改革
 - (1) 強い農林水産業の創出による地域経済の活性化
 - ア. 農地利用の最適化の推進
 - イ. 農業者の成長段階に応じた資金調達の円滑化【令和2年度検討・結論】
 - ウ. 農産物検査規格の見直し
 - エ. 畜舎に関する規制の見直し

また、令和3年1月20日開催の農林水産ワーキンググループの会合では、「農業政策全般について」が議題とされ、農林水産省からの説明に対して、出席委員からは、自己改革の各取組みの進捗を一定評価しながら、実際の農業所得向上に結びついている実績・成果を求められた模様である。

2. 農林水産省の動き

農協改革の評価と課題

12月15日の農林水産業・地域の活力創造本部において、農協改革の進捗状況が報告された。所得向上のための体制づくりについて「対象農協全てで実施」など、おおむね自己改革の取組みが進捗しているとされたが、直接販売の未実施J Aが2割程度あること等が課題として指摘され、「引き続き、J Aグループの自己改革を促進」とされた。

3. J Aグループ青森としての令和2年度下期の取組み

(1) 「不断の自己改革」の取組みの実践

担い手の評価向上に向けた対話運動の実施と、農業者の所得増大の実践（特に販売）について、今後とも継続して取組む。

(2) 准組合員の意思反映の取組み加速化

令和2年度規制改革実施計画において、准組合員の意思反映が求められていることから、各J Aにおける准組合員の位置付けの明確化を進め、准組合員にかかる意思反映・運営参画促進要領の見直し等や未着手J Aへの策定支援に取組む。

(3) 「組合員の判断」の見える化

「組合員の判断」の見える化については、J A全中が昨年7月29日に「J Aの自己改革に関する組合員調査」最終結果を公表した。当時の江藤農水大臣から准組規制の検討において受け止める旨の発言があったほか、ICA、日本生協連、全国商工会連合会等の国内外の識者から調査結果を高く評価するコメントが出された。

このことを踏まえ、各J Aにおいて、「組合員の判断」の見える化（組合員の意思）として、准組合員にかかる意思反映・運営参画促進要領の運営を含め、准組合員を「農業者（正組合員）」とともに農業や地域経済の発展を共に支えるパートナー（組合員）」と位置付けていくことに取組む。

(4) 「不断の自己改革」取組宣言

上記の(1)～(3)を踏まえて、『不断の自己改革 取組宣言』としてまとめ、各J Aの総（代）会において宣言を採択することの支援に取組む。

農協法5年後見直し条項の期限が今年3月に迫る中、見直しの重要なポイントが准組合員規制問題であることから、2月18日開催の令和2年度下期J A自己改革推進会議や中央会定例理事会等で今後の取組みを説明していくとともに、各J Aへは3月4日開催予定の経営管理研修会で説明します。

(中央会 農業対策部)

経営の窓口

組合員からの書類閲覧請求の対応等について

1. はじめに

組合員の権利の中に、書類閲覧請求権がある。この請求権について、どのような書類が対象となるのか、また、組合員からの同請求権を拒否することは可能かどうかなど同請求権の内容について掲載する。

2. 書類閲覧請求権の対象は

同請求権の権利行使は、組合に対する非農業的支配の排除とは直接的に関係しないので、准組合員を含む組合員に与えられている。農業協同組合法（以下「農協法」という。）では、閲覧請求できる書類を具体的に規定しており、それ以外は閲覧させることはできないものと解される。仮に、農協法で規定されている以外の書類を閲覧させた場合は、理事の忠実義務違反となることも想定される。

農協法で閲覧請求の対象として規定しているものは、①共済の契約変更に係る書面等の閲覧・謄抄本交付請求、②委任状・議決権行使書面等の閲覧・謄写請求、③組合員名簿の閲覧・謄写請求、④定款・規約・諸規程の閲覧・謄抄本交付請求、⑤理事会議事録の閲覧・謄写請求、⑥決算関係書類等の閲覧・謄抄本交付請求、⑦総会・総代会議事録等の閲覧・謄写請求、⑧合併契約の内容を記載した書面等の閲覧・謄写本交付請求、⑨合併によって承継した権利義務を記載した書面等の閲覧・謄写本交付請求となっている。（ただし、上記②の権利は、正組合員のみのものである。）

3. 書類閲覧請求権の拒否について

農協法では、書類閲覧請求に対して、正当な理由がないのに閲覧または謄写を拒んだ場合には、50万円以下の過料の制裁が課せられる。つまり、基本的には、閲覧を拒否できないというのが前提にある。

では、正当な理由は何かということになるが、例えば①組合の事業を妨害、②組合の秘密漏えい、③組合員の嫌がらせ、④組合員名簿の名簿屋への売却、⑤不当な意図・目的である等権利濫用に当たる場合が考えられる。しかし、これらの立証責任はJA側にある。

よって、請求者の背後にある不当な目的を明らかに立証できるのであれば拒否できるが、現実的には、立証は困難だと思われる。なお、5年間にわたる取締役会議事録の閲覧請求に対して、競業する株主であることを理由に会社が拒否し、裁判で5年間ではなく、一部の開示を認めた例もある。

4. 理事会の録音データの開示について

組合員からの理事会議事録の閲覧・謄写請求はよくあるが、中には議事録の録音データを聴かせてもらいたいという請求もある。理事会について、農協法・定款の規定で求めているのは、役員が署名または記名押印する「理事会議事録」の作成であり、その録音までは求めている。録音は、事務局が理事会議事録を作成するための補助的手法であり、録音するしないは任意で、その録音データについては、理事会議事録作成後に消去して構わないものであり、当然保存年限等もない。

よって、理事会の録音データについては、開示する義務がないものと判断できる。

（中央会 経営対策部）

組織農政通信

「農業者年金制度のポイント」

1. 豊かな老後の生活設計のためには、 国民年金プラス農業者年金を基本に

65歳の日本人の平均余命が、男性が20年（85歳）、女性が24年（89歳）と毎年、男女とも伸びている中で、老後生活の安定を図るためには、生活の基盤となる年金の必要性、重要性が増している。

総務省家計調査によると高齢農家の1ヶ月あたり現金支出（生活費）は、月額24万円で、国民年金加入者で夫婦とも20歳～40年間加入した場合、国民年金だけでは、月額13万円で11万円不足となっている。人生100年時代と言われる今、農業者の老後の備えには、国民年金プラス農業者年金を基本に生活設計を考えなければならない。

新制度の必要性のポイントと制度理解のための取り組みのポイントを紹介する。

2. 新制度の農業者年金の6つのポイント

- (1) 農業に従事する方なら広く加入できる
- (2) 少子高齢化時代に強い積立方式・確定拠出型の年金
- (3) 保険料の額は千円単位で自由（月額2万円～6万7千円）に決められる
- (4) 終身年金で、80歳前に亡くなった場合は死亡一時金が遺族に支給される
- (5) 保険料の全額が社会保険料控除されるなど税制面の優遇措置がある
- (6) 認定農業者など一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助がある

制度改正により平成14年1月に再出発した新制度の農業者年金は、①国民年金第1号被保険者、②年間60日以上農業に従事、③60歳未満の3つの要件を満たす農業者であれば誰でも加入することができ、積立方式の安定した制度であり、農業者にとってメリットのある制度である。

農業者年金は、安全確実で、何より終身にわたって受給することができ、農業者の老後生活の安定を図るためには、極めて重要で万が一80歳前で亡くなった場合は、遺族に死亡一時金が支給される。

加入者、受給者の数の変化に影響を受けにくい積立方式・確定拠出型で、財政的に安定した制度で、加入者は、保険料を自分の将来の年金として

積み立てておき、老後にその積み立てを切り崩しながら受給する少子高齢化時代に強い他の年金制度にはない有利な仕組みとなっている。

3. うまく活用！ 経営改善に役立つ政策支援や税制優遇措置

国民年金第1号被保険者等の農業者年金への加入要件に加え、①39歳までに加入、②農業所得が900万円以下、③認定農業者で青色申告者等の一定の要件を満たした農業者に対して保険料の負担を軽減する政策支援として、保険料の国庫負担を受けられる加入方法が政策支援加入であり、加入期間中は、保険料の国庫補助を受けられる。

保険料は、月額2万円～6万7千円まで（千円単位で）加入者が自由に選択でき、保険料の額はいつでも見直しできる。支払った保険料は、同一生計の家族の分を含めた全額が社会保険料控除の対象となり、大きな節税効果が得られる。

4. 制度理解を重点に置いた粘り強い加入推進を

農業者の老後の生活安定と経営継承を通じ、意欲のある担い手の育成確保を図るための政策年金である農業者年金にとっては、制度の長期安定と政策効果を確保するための加入資格者の制度理解により、より多くの加入者を確保することが最大の課題である。

J Aグループでは、平成30年度に（独）農業者年金基金が設けた「加入者累計13万人早期達成3カ年運動」の推進目標実現に向け、重点的な加入推進対象を「20歳～39歳までの基幹的農業従事者」並びに「女性農業者」とし、J Aグループが取り組む「担い手総合支援対策」の一環として、特に未加入の青年部員や女性部員に対する加入推進運動の強化に取り組んでいる。

令和2年度も残すところあと2カ月余りとなったが、加入推進対象者として若手農業従事者と女性農業者に重点を置いて、農業者年金の説明を聞いたことがないという担い手をゼロに近づけていく取り組みを強化していくことが肝要である。

（中央会 農業対策部）

令和2年度 職員資格認証試験結果の概要

～初級・中級の合格率が増加したものの、上級合格率が低下、
初級の全科目・上級2科目が全国平均点を下回る～

1. 受験状況と試験結果

今年度の職員資格認証試験の結果がまとまった。

概要は、下表「種別」試験結果概要のとおりである。

各種別の主な特徴として、

- (1) 初級では、すべての科目において全国平均点を下回ったものの、合格者は89人と前年度(63人)より26人増加した。合格率も73.6%と前年度(53.7%)より19.9ポイント増加となった。
- (2) 中級では、すべての科目において県平均点が全国平均点を上回ったものの、合格者は64人と前年度(87人)より23人減少した。合格率は61.5%で前年度(60.4%)より1.1ポイント増加した。
- (3) 上級では、2科目において県平均点が全国平均点を下回ったものの、合格者数は49人と

前年度(43人)より6人増加した。合格率は43.0%と前年度(55.8%)より12.8ポイント低下した。

- (4) 初・中・上級を合わせた受験者数は、339人と前年度(329人)より10人増加した。合格者数は202人と前年度(193人)より9人増加した。

2. 一層の受験督励と計画的な学習を

今年度は、初級のすべての科目、上級の2科目で県平均点が全国平均点を下回った。受験者には合格を見据えた計画的な学習が求められる。来年度に向け、早期の自己学習に取組みいただき今年度以上の結果を期待したい。

また、JAにおいては、職員の資質・能力向上を目的とした人材育成の観点から、認証試験受験の督励に引き続きつとめていただきたい。

(中央会 経営対策部)

○「種別」試験結果概要

○初級

〔科目別平均点等〕

	本県平均	全国平均	最高点	最低点	取得者 (人)	60点以上
J A 基礎	73.6	74.5	100	43	89	
農業情勢基礎	66.7	68.3	94	31	76	
J A 簿記基礎	71.7	71.8	98	14	87	

〔受験者数等〕

	R02	R元	R02-R元
受験者数(人)	121	108	13
合格者数(人)	89	63	26
合格率	73.6%	53.7%	19.9%
科目合格者数(人)	16	16	0

○中級

〔科目別平均点等〕

	本県平均	全国平均	最高点	最低点	取得者 (人)	60点以上
J A 事業論・協同組合論	65.9	63.9	97	27	57	
農協法	62.8	56.7	97	20	56	
J A 簿記会計	63.8	60.4	100	18	53	

〔受験者数等〕

	R02	R元	R02-R元
受験者数(人)	104	144	△ 40
合格者数(人)	64	87	△ 23
合格率	61.5%	60.4%	1.1%
科目合格者数(人)	14	26	△ 12

○上級

〔科目別平均点等〕

	本県平均	全国平均	最高点	最低点	取得者 (人)	60点以上
J A 経営管理・農業協同組合論	55.0	57.6	93	13	39	
J A 財務・管理会計	56.3	57.0	99	19	40	
J A 人事管理	66.1	64.9	99	29	64	

〔受験者数等〕

	R02	R元	R02-R元
受験者数(人)	114	77	37
合格者数(人)	49	43	6
合格率	43.0%	55.8%	△ 12.8%
科目合格者数(人)	18	18	0

種別	JA名	氏名
青	森	横山雄工
青	森	村山恕奈
青	森	佐々木礼奈
青	森	鹿内勇人
青	森	長内亨公
青	森	鳴海孝樹
青	森	小笠原里玖
つがるにしきた		阿部祐子
つがるにしきた		米塚隆文
つがるにしきた		今暁子
つがるにしきた		神博文
つがるにしきた		佐々木蓉子
つがるにしきた		蝦名優香
つがるにしきた		松舘亜優美
つがるにしきた		高橋優海
つがるにしきた		葛西諸吾
つがるにしきた		小山内菜摘
つがるにしきた		蝦名諒汰
つがるにしきた		小野えみり
ごしょつがる		畑山草太
ごしょつがる		川浪史織
ごしょつがる		坂本楓太
ごしょつがる		柏谷葵
つがる弘前		鳴海将貴
つがる弘前		田中亜依
つがる弘前		大川綺香
つがる弘前		木村雄仁
つがる弘前		須藤亜瑚
つがる弘前		遠藤薫
つがる弘前		木田馨
つがる弘前		大川隆治
つがる弘前		齋藤慎志
つがる弘前		阿保和宏
つがる弘前		松岡恵介
つがる弘前		清藤正幸
相馬村		山内新菜
相馬村		田中瑠偉
相馬村		山内航
相馬村		三上翔平
相馬村		桑田歩
相馬村		大場茉南
津軽みらい		松橋凌太
津軽みらい		鈴木満
津軽みらい		丸山郁哉
津軽みらい		後藤俊也
津軽みらい		木村和幸
津軽みらい		栗林英寿
津軽みらい		齋藤周平
津軽みらい		長尾颯太
津軽みらい		齊藤丈一郎
津軽みらい		小野穂高
津軽みらい		奥瀬裕介

認証初級(89人)

種別	JA名	氏名
津軽みらい		小舘春菜
津軽みらい		高橋麗奈
津軽みらい		工藤和歩
津軽みらい		工藤秀一
津軽みらい		有馬郁織
津軽みらい		兼平信太郎
津軽みらい		鎌田翔貴
津軽みらい		成田世莉花
津軽みらい		宮本晶平
津軽みらい		齋藤慶汰
十和田おいらせ		川村優香
十和田おいらせ		川村龍太
十和田おいらせ		竹ヶ原光稀
十和田おいらせ		織笠翔太
十和田おいらせ		小笠原知也
十和田おいらせ		福田一馬
十和田おいらせ		佐々木康博
十和田おいらせ		吉崎友恵
十和田おいらせ		山端暖子
十和田おいらせ		戸澤真尋
十和田おいらせ		橋本珠希
十和田おいらせ		佐々木優香
十和田おいらせ		佐々木康高
十和田おいらせ		鈴木龍杜
十和田おいらせ		林佳奈
十和田おいらせ		野月麻衣子
十和田おいらせ		山端友貴
十和田おいらせ		盛田竜也
ゆうき青森		大鳥礼子
ゆうき青森		高田龍弥
ゆうき青森		吹越由梨
ゆうき青森		米内山季莉
ゆうき青森		村畑千優
おいらせ		種市則之
おいらせ		山田健太郎
八戸		畑中一輝
八戸		田中翔大
青森		三上翔哉
つがるにしきた		津島明伸
つがるにしきた		佐々木務
つがるにしきた		白戸龍義
ごしょつがる		工藤康子
ごしょつがる		加藤沙輪子
ごしょつがる		齋藤祥平
ごしょつがる		澁谷大知
ごしょつがる		新谷幸子
ごしょつがる		越後谷星斗
つがる弘前		中村壮佑
相馬村		工藤玲奈
相馬村		千葉翔平
津軽みらい		村上孝浩
津軽みらい		一戸歩

認証初級(89人)

認証中級(64人)

種別	J A名	氏 名
	津 軽 み ら い	小田 桐 玲
	津 軽 み ら い	伊 藤 香
	津 軽 み ら い	相 馬 恭 佑
	津 軽 み ら い	山 口 美 滯
	津 軽 み ら い	福 士 滉 平
	津 軽 み ら い	長 尾 朱 音
	津 軽 み ら い	小 関 七 海
	津 軽 み ら い	山 口 佑
	津 軽 み ら い	齋 藤 匠 杜
	十和田 おいらせ	沖 沢 佑 紀
	十和田 おいらせ	田 中 由 紀子
	十和田 おいらせ	齋 藤 麻 奈
	十和田 おいらせ	千 葉 拓 人
	十和田 おいらせ	二ッ森 拓 也
	十和田 おいらせ	高 淵 範 顕
	十和田 おいらせ	漆 畑 克 気
	十和田 おいらせ	沼 山 聡
	十和田 おいらせ	澤 口 隆 秀
	十和田 おいらせ	市 澤 洋 子
	十和田 おいらせ	山 田 智 史
	十和田 おいらせ	工 藤 英 明
	十和田 おいらせ	畑 山 真 紀子
	ゆ う き 青 森	田 沢 知 子
	お い ら せ	出 戸 貴 明
	お い ら せ	成 田 亜 弓
	お い ら せ	沼 田 康 佑
	お い ら せ	吉 田 万 里子
	お い ら せ	種 市 はるか
	お い ら せ	林 幸 多
	お い ら せ	松 石 澄 恵
	お い ら せ	久保田 篤 実
	お い ら せ	遠 島 詩 音
	八 戸	松 澤 加 奈子
	八 戸	坂 本 咲 月
	八 戸	渡 辺 尚 輝
	全 農 あ お も り	山 形 雅 一
	全 農 あ お も り	武 井 将 太 郎
	全 農 あ お も り	長 尾 和 朋
	全 農 あ お も り	越 田 茂 輝
	全 農 あ お も り	原 子 悠 基
	全 農 あ お も り	工 藤 永 真
	全 農 あ お も り	石 川 達 也
	全 農 あ お も り	泉 谷 和 美
	全 農 あ お も り	大 場 春 樹
	全 農 あ お も り	和 嶋 靖 晃
	全 農 あ お も り	黒 滝 京 治
	全 農 あ お も り	森 伸 治
	全 農 あ お も り	高 橋 結 香
	全 農 あ お も り	工 藤 亘 晟

認
証
中
級
(64人)

種別	J A名	氏 名
	青 森	川 村 亮 麻
	青 森	櫻 田 衣 李 加
	青 森	大 宮 僚 祐
	青 森	南 香 織
	つがるにしきた	天 坂 吉 彦
	つがるにしきた	赤 石 守
	つがるにしきた	櫻 井 千 鶴
	つがるにしきた	世 永 智
	つがるにしきた	高 取 聖 子
	つがるにしきた	吉 田 修 司
	つがるにしきた	安 田 徳 孝
	ごしょつがる	成 田 俊 之
	ごしょつがる	山 口 崇
	ごしょつがる	山 田 一 騎
	ごしょつがる	阿 部 宏 太
	つがる弘前	佐 藤 春 香
	つがる弘前	阿 部 けい子
	つがる弘前	丸 山 美 香
	つがる弘前	千 葉 由 美 子
	つがる弘前	長 尾 諭
	津 軽 み ら い	佐 藤 力 也
	津 軽 み ら い	小田 切 尚 武
	津 軽 み ら い	宇 野 誠
	津 軽 み ら い	福 士 直 樹
	津 軽 み ら い	清 藤 裕 恵
	津 軽 み ら い	鈴 木 瑞 穂
	津 軽 み ら い	佐 藤 孝 穂
	津 軽 み ら い	小 野 真 也
	津 軽 み ら い	西 谷 岳 史
	十和田 おいらせ	和 田 良 輔
	十和田 おいらせ	田 中 冴
	十和田 おいらせ	下 田 中 永 一
	十和田 おいらせ	上 野 翔 太
	十和田 おいらせ	名 古 屋 幸 樹
	十和田 おいらせ	氣 田 圭
	十和田 おいらせ	佐 々 木 卓 也
	十和田 おいらせ	豊 川 節 子
	お い ら せ	野 宮 優 輝
	お い ら せ	木 下 学
	お い ら せ	浪 岡 隼 也
	お い ら せ	富 田 亜 紗 実
	八 戸	高 坂 博 樹
	八 戸	舘 俊 秀
	八 戸	中 野 裕 樹
	八 戸	工 藤 果 咲
	八 戸	山 下 梢
	八 戸	上 野 健 太 郎
	共 済 連	細 川 聖 司
	共 済 連	蛭 名 茂 和

認
証
上
級
(49人)

合格おめでとうございます。



PR活動実施・販売額初の 1億円超え



津軽の桃プレゼント抽選会

J A 津軽みらいでは、管内産桃を「津軽の桃」のブランドで販売展開しており、ロゴマークの登録や地域商標登録によるブランド力強化を図っている。

同J Aでは、「津軽の桃」の知名度向上のため収穫体験バスツアーを開いているが、2020年は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止とし、消費者へ桃をプレゼントする企画を実施した。8月11日にJ A本店で行った抽選では、同J Aの佐藤佳克常務が抽選箱から番号札を取り出し、応募者707人の中から40人が当選した。当選者には、9月上旬に「川中島白桃」1箱（1袋／5^{kg}）と「津軽の桃」のロゴがプリントされた布マスク1枚が贈られた。

同年産の「津軽の桃」の販売額は1億5,212万円（前年対比158.6%）となり、初めての1億円超えとなった。

入庫数量が過去最高の3万5,201箱（前年対比111.8%）となったことや、主力品種の「川中島白桃」などの販売単価が過去最高となったことが好結果に繋がった。

12月14日に本店で開いた同J Aもも生産協議会の役員会で販売額を報告。20年産は、天候が良好だったことから大玉果が多く過去最高の入庫数量となり、輸出の要請もあり順調な販売となった。また、新型コロナウイルスの影響で家庭内需要が高まり、中・小玉品種の引き合いが強くなったことで高値基調の販売となったことを報告した。

同生産協議会の倉内信一会長は「販売額が初めて1億円を超えたことで、目標の一つを達成することができ、桃を栽培してきてよかったと心から感じている。今後はさらに販売額向上を目指すため、消費者へのPR活動や生産者を増やす取り組みを進めていきたい」と話した。

需要踏まえ品種「まっしぐら」へ

J A 津軽みらいでは、米の需要動向への対応と米生産者の所得向上につなげるため、2020年産米から3カ所ある共同乾燥調製施設での荷受品種を「つがるロマン」から「まっしぐら」に変更した。「まっしぐら」は外食産業などで需要が高く、「つがるロマン」と比べて約1割の収量増加が見込めるため所得向上が期待できる。

同年産「まっしぐら」の入庫数量は、合計12万7000俵（1俵／60^{kg}）となった。

品種の変更に伴い、販売している「みらい米（マイ）」のパッケージも新しいデザインに変更。新パッケージの「みらい米」は、同年10月29日から同J A直売所の道の駅ひろさきサンフェスタいしかわをはじめとする各直売所、グリーンセンターなどで販売している。1袋の通常価格は5^{kg} 1,850円（税込み）、10^{kg} 3,650円（税込み）。

新パッケージは、広大な水田と青空、津軽富士と呼ばれる岩木山が描かれているのが特徴。中央には「まっしぐら」の文字が大きく書かれている。



新パッケージの「みらい米」



輝き

農林中央金庫 青森支店
コーポレートサービス班(総務)
奈良崎 玲子 さん

●プロフィール
2019年4月から勤務 青森市出身 24歳

働きたきっかけは？

青森県が誇る第一次産業を金融面からサポートできるところに魅力を感じ、また、企業説明会に参加した際に、福利厚生が充実していることと金庫職員の人柄に魅力を感じたので、志望しました。

業務内容を教えてください。

主に経費関係と福利厚生関係を担当しています。
経費関係では、月に30件ほどある支払処理等を行っています。また、福利厚生関係では、職員の健康管理を目的に毎月開催される衛生委員会の事務や、定期健康診断・人間ドック・歯科検診・インフルエンザ予防接種等の対応を行っています。

働いた感想は？

事務処理の堅確性の高さに驚きました。また、職場の雰囲気良く質問もしやすい環境にあるので、気持ちよく業務に取り組むことが出来ていると感じます。

仕事をする上で、日頃心がけていることは？

業務に優先順位を付けて効率的に取り組むことを心がけています。また、担当している業務の意味を理解しながら取り組むようにしています。

特技・趣味は？

自然の写真を撮ることが趣味なので、青森県内の色々な名所に行って写真を撮りたいです。

あなたが自慢できることは？

何事も前向きに捉えることです。仕事で失敗することもあります、この経験が今後活かされるための失敗だと考えています。

将来の夢は？

信頼できる金庫職員になることです。日々精進して、総務だけでなく他の業務も身に付けていきたいです。

素材の味を活かした加工品 干しゼンマイ食べてみて



干しゼンマイをアピールする
久保田さん

弘前市富栄にお住いの久保田梅子さんは、春先に岩木山麓などで収穫した山菜の加工品を、JAつがる弘前農産物直売所「かあさんの店」に出荷している。「実家に住んでいた頃から父と山菜を採りに行くことが多かったので、すっかり山が好きになった」と話す。山菜の加工方法も父に教わった。
オススメ商品は「干しゼンマイ」。綿を取り除いたゼンマイを柔らかくなるまで煮込み、天日干ししながら念入りに揉む作業を繰り返す。素材本来の味を楽しんでもらうため調味料は使用せず、一定の食感を保つように乾燥させる。
食べる時は沸騰したお湯でもどした後、さらに揉みこむと柔らかさが増すため、好みに合わせて手を加えるのもポイント。
久保田さんは「津軽の郷土料理「けの汁」や「白和え」にして食べるのがオススメ。各家庭でお好みに味付けして様々な料理に使ってもらいたい」と話す。「干しゼンマイ」は60g入り500円で販売している。



問い合わせ先：JAつがる弘前農産物直売所「かあさんの店」
電話：0172(27)9273
記事提供：JAつがる弘前



「いちごジャム」40年 変わらぬ味を届ける



ジャムを作る部員ら（青森県八戸市で）

JA八戸女性部八戸広域支部市川地区には44人が所属している。同地区では、毎年、八戸市市川町産のイチゴを使用した「いちごジャム」を作っている。市川地区は、青森県内においても有数のイチゴの産地であるため、5月から6月にかけて「いちごジャム」を作っており、作り始めて40年近くになる。

ジャムには、甘い「さちのか」ときれいな色がでる「麗紅」を使用。保存料や着色料を含まない無添加のジャムである。

今年の「いちごジャム」は、イチゴが雪不足の影響から不作だったため、冷凍し保存しておいたイチゴも用いて作った。

イチゴを三温糖と上白糖で煮詰め、大小それぞれの瓶に入れ、販売している。JAアグリマーケット八菜館や商業施設などに置かれ人気を博している。

購入者は「他のイチゴジャムに比べ、果実がしっかり入っていて美味しい」と笑顔で話す。同地区の川口トミエ地区長は「毎年楽しみにしているお客様がいるのはとても嬉しい。今後も、部員同士協力し続けていきたい」と意気込む。

（日本農業新聞・青森県版12月10日掲載）

後編 編集集

暖冬・少雪だった昨年と比べ、今年の積雪量は半端なく多く、昨年の年末から今年の1月11日までは、爆弾低気圧の居すわりの影響で一気に積雪が増加した。1月27日現在青森市の積雪量は67cmと一時期130cmあった時期から半減したが、今度は、朝夕の放射冷却現象でこれまで積もった雪が氷と化し、日中のプラス気温で落雪により住宅等に被害が出ているとのニュースが出ている。

まさに「雪硬く 見上げた屋根に 凶器あり」の一句。

また、雪片付けによる高所からの落下や落雪による事故で多数の負傷者が出ており、今後の積雪増に対しても十分注意していく必要がある。

雪かきが多くなり、汗をかくため大好きな銭湯に行く機会が増えた。銭湯に来る人は、あまりマスクをしていない。浴室とサウナではマスクは不要だが、それにしても、玄関口から脱衣所のあたりまではマスクが必要と思われるが、していない人が圧倒的に多い。なぜだろう？またこの銭湯「県外の方は入浴をご遠慮ください」との張り紙がしてあり、これについては、理解できる。

この大雪のおかげでここ1か月で3kg位痩せることができ、体脂肪が減り体も軽くなったが、朝の通勤時間が長くないように2月は少雪を願うばかりだ。（公）



ホームページアドレス

- JA青森中央会 <http://www.ja-aomori.or.jp/chuoukai/>
イベントの様子、歳時記、産直・JA情報などをご覧ください。
- JAバンク青森 <http://aomori.jabank.org/>
商品・サービスのご案内のほか、マネーセッションや全国のJAバンクへのリンク等をご覧ください。
- JA全農あおもり <http://www.am.zennoh.or.jp/>
生産量日本一のりんご・にんにく・ごぼうをはじめとした農畜産物情報や活動状況、中古農機情報を紹介しております。
- JA共済連青森 <http://www.jakyosai-aomori.jp>
JA共済のご案内のほか、地域貢献活動の取組みを紹介しております。

表紙でたどる『家の光』の歩み

1925年(大正14年)の創刊以来、
95年の長きにわたり読み継がれてきた家庭雑誌『家の光』。
時代時代を映した表紙の数々をご紹介します。



記念すべき
創刊号

1925



1951



1957

写真の表紙に。
付録に「子ども家の光」が
ついていました



1974

ロゴが変わり
女優さんが表紙に登場



2011



2001



1995



1993

ロゴデザイン、表紙デザイン共に
数回の変遷を経て...



2018



『家の光』は
料理、健康、手芸、園芸、生活のワザなど、
生活に役立つ情報を毎月お届けします。

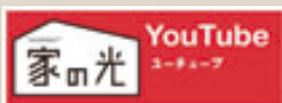
『家の光』の記事を活用して、
お家での活動を
充実させましょう!

お家の
家活
おうち時間を
楽しもう!



定価(税込) ●普通月号 629円
●付録月号(1・4・5・7・9月号) 922円
●家計簿付き12月号 1,027円

2018年、現在のロゴデザインに。毎月、いま旬の方に登場いただいています



もご覧ください!

家の光 YouTube チャンネルでは、
掲載記事に関連した動画を配信中!



JAグループ 家の光協会

〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11

TEL.03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>

「食」と「農」 都市と農村 つなげる紙面

役立つ、得する、
楽しい情報が満載

●購読のお申し込みは JA へ
購読料 1カ月 2,623円(税込)

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞
<https://www.agrinews.co.jp>

知る、活かす、つなぐ～JAグループ情報共有運動



あらためて気づいた
食と農、家族のたいせつさ



ひそかに
“家活”で
おうち時間を
楽しもう!

“Ienohikari”
家の光

月号	定価(税込)
普通月号	629円
付録月号(1・4・5・7・9月号)	922円
付録月号(家計簿付き12月号)	1,027円

お申し込みはお近くのJA本・支店(所)へ

JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL.03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>



つがるロマン
TSUGARU ROMAN



青天の霹靂
SEITEN NO HEKIREKI



まっしぐら
MASSHIGURA

青森から3つの「美味しい!!」

青森米本部
aomori-komehonbu.gr.jp



©やなせたかし

Nツアーあおり宿泊キャンペーン

青森県内宿泊がダブルでお得!
青森県内宿泊者限定の宿泊プラン!
宿泊代金**5,500円割引!**

さらに**3,300円**程度の
風車風カテゴリープレゼント!
<先着順>

期間限定:令和3年2月1日~令和3年3月14日

龍飛崎温泉 龍飛崎温泉ホテル竜飛 東館・西館

青森県内唯一の温泉。日本海と津軽海峡を望む絶景!露天風呂が自慢

ご利用期間: 令和3年2月1日~3月14日	4名様以上1室	3名様1室	2名様1室
全日泊	お支払い実額 7,500円 (値引前宿泊代金)	8,600円 (14,100円)	9,800円 (15,300円)
設定除外日	※ご注意 2/6~7、17~23、27~28、3/1~4は休館日です。		

馬門温泉 まかど観光ホテル

ようこそ 雄の湯伝説の温泉へ。天然青森ひば流りの総檜大浴場は「千古の名湯」です。

ご利用期間: 令和3年2月1日~3月14日	4名様以上1室	3名様1室	2名様1室
平日泊	お支払い実額 7,400円 (12,900円)	7,900円 (13,400円)	8,500円 (14,000円)
休前日泊	お支払い実額 8,500円 (14,000円)	9,100円 (14,600円)	9,600円 (15,100円)
設定除外日	※ご注意 2/1~2/7は休館日です。2/8以降はお問合せください。		

さらに**JA正・准組合員様 特別割引プラン!**

JA正・准組合員様とご家族様は、おひとり様2,200円割引でご利用いただけます(JA正・准組合員割引プランをご参照ください)

浅虫温泉 絶景の宿 浅虫さくら観光ホテル

ご利用期間: 令和3年2月1日~3月14日	4名様以上1室	3名様1室	4名様以上1室	3名様1室
平日泊	お支払い実額 10,050円 (15,550円)	11,150円 (16,650円)	7,850円 (15,550円)	8,950円 (16,650円)
休前日泊	お支払い実額 12,250円 (17,750円)	13,350円 (18,850円)	10,050円 (17,750円)	11,150円 (18,850円)

Nツアーお勧めプラン! 名湯のお宿 & 料理自慢のお宿

酸ヶ湯温泉 青森の「名湯」酸ヶ湯温泉 旅館棟イ棟

ご利用期間: 令和3年2月1日~3月14日	4名様1室(イ棟)	3名様1室(イ棟)	2名様1室(イ棟)
平日泊	お支払い実額 8,620円 (14,120円)	9,720円 (15,220円)	
休前日泊	お支払い実額 9,720円 (15,220円)	10,930円 (16,430円)	

下風呂温泉 下風呂観光ホテル「漁火の宿」三浦屋

ご利用期間: 令和3年2月1日~3月14日	4名様1室	3名様1室	2名様1室
平日泊	お支払い実額 12,360円 (17,860円)	13,020円 (18,520円)	13,570円 (19,070円)
休前日泊	お支払い実額 13,350円 (18,850円)	14,120円 (19,620円)	14,780円 (20,280円)

上記の他にも青森県内宿泊施設がございます。詳しくは農協観光青森支店まで

旅行企画・実施
お問い合わせ・
お申込み



(一社)日本旅行業協会正会員 観光庁長官登録旅行業第939号
株式会社 **農協観光青森支店**
〒030-0847 青森市東大野二丁目1-15
総合旅行業務取扱管理者: 伊藤 亨・田川ますみ
TEL 017-729-8800
FAX 017-729-8803

お問い合わせは
お申込みは

青森県知事登録旅行業者代理業第28号
JA 十和田おいらせ旅行センター
☎0176-23-0374
総合旅行業務取扱管理者 / 桜田 康子
青森県知事登録旅行業者代理業第26号
JA ゆうき青森旅行センター
☎0175-72-1433
総合旅行業務取扱管理者 / 八重樫泰浩

青森県知事登録旅行業者代理業第15号
JA 津軽みらい旅行センター
※現在「休業中」です

作品介绍

●令和2年度

JA共済青森県小・中学生書道コンクール

(書道〈半紙の部〉最優秀賞)



藤崎町立
常盤小学校3年
白川 茉莉愛



黒石市立
六郷小学校2年
猪股 愛結



藤崎町立
藤崎小学校1年
白戸 樹音



黒石市立
黒石小学校6年
佐藤 舞子



青森市立
浪打小学校5年
奈良 ひより



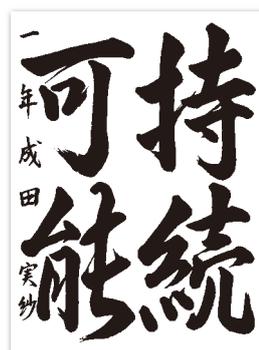
板柳町立
小阿弥小学校4年
長谷川 新虎



弘前大学教育学部
附属中学校3年
横山 周旺



青森市立
浪岡中学校2年
古村 日和



平川市立
平賀東中学校1年
成田 実紗